

# The Tokyo Tanuki Times

東京タヌキタイムズ

2009年9月号 通巻9号 毎月1日発行 購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2009

責任編集：宮本拓海 発行：東京タヌキ探検隊！tokyotanuki.jp

## ビデオカメラを買った話

### タヌキ観察には必須の道具



左がこれまでのビデオカメラの映像、右が新しいビデオカメラの映像(いずれも2009年8月撮影)。実際には新しいビデオカメラ映像の方が画素数が多く、細部もよりはっきりと見える。

今回はタヌキ観察の道具の話をしていきましょう。タヌキを観察できる機会は限られていますので、映像に残すことはとても大事です。記録するならカメラ(静止画)ではなくビデオカメラ(動画)にすべきです。カメラはある瞬間しか撮れませんが、ビデオカメラならばタヌキの一挙手一投足を記録できるからです。

問題は、タヌキ撮影はほとんど夜になってしまうことです。普通に撮影すると真っ暗で何も映りません。そのため夜間撮影機能があるビデオカメラを選ばなければなりません(実際にはそれでも光量が足りませんので懐中電灯も使用します)。

#### 9年間の時代の進歩

私がこれまで使ってきたビデオカメラはソニーのDCR-PC100という製品です。調べてみたら1999年の発売。買ったのは翌年ですので、なんと9年間も使い続けたこととなります。当時はminiDVテープが主流で、業務用ではない一般向けのビデオカメラでも十分に高画質な映像が

撮影できました。ところがこのビデオカメラ、今年になって録画ボタンがうまく動作しなくなりました。ついに買い替えの時が来たようです。

では、何を選ぶべきか。時代は流れて、今ではテープを使うビデオカメラは脇役です。タッチパネルやHDMI対応など新しい機能もあります。数ある機能の中での選択のポイントやはり夜間撮影機能があること、そして高解像度映像を撮るためにフルハイビジョン対応であることです。そうして選んだのは、ソニーのHDR-XR500Vです。今年発売の新しいモデルです。

さっそく現場で新品ビデオカメラを試してみました。その成果が上の画像です。これまではモノクロ映像でしたが、カラー映像が撮れるようになったのは大きな変化です。しかも解像度が高いので毛並みまでよく見えます。暗い場所ではノイズが増えてしまうのは仕方がないものの、研究には大きく役立つでしょう。

テープの残り時間を気にしなくていいのもありがたいことです。ただ、フルハイビジョンの巨大なデー

タをどうバックアップするのか悩んでいるところです。

#### 貧乏研究者の悲哀

ところで、勘違いをされている方が多いようですが、私はどこかの大学の先生でも研究所の人でもありません。つまりプロではなくただのアマチュアなのです。ですので費用はすべて自腹です。どこかからお金をもらっているわけではありません。平均以下の年収であれやこれやの機材を買うというのはかなり厳しいものです。かといって機材がなければ成果をあげることもできません。アマチュアの立場はなかなかつらいものです。

### スポンサー枠

スポンサー募集中です！

東京都および周辺地域のタヌキ情報を集めています。

<http://tokyotanuki.jp>